



みちくさ

2016. 11. 24 No. 33

静岡との交流授業

20日の日曜日、河北新報の週刊こども新聞のコーナーに、本校6年生の実践が大々的に取り上げられました。なぜ静岡の小学生と交流することになったかという点、NPO 富士山世界遺産国民会議と富士の国づくり推進会議というところが、葛飾北斎の「富嶽三十六景」を題材にしたDVD教材を作成したことから始まります。その後、これを小学校の学習に利用することを企画し、活用してくれる静岡県内の学校を探したそうです。どうせなら富士山とは縁のない地域の学校も一緒に交流しながら進めたいということで、片平丁小に話が来ました。平成27年のことでした。

昨年の6学年担任の山本先生へお願いし、いつでもできるように準備を整えておいたところ、静岡側で引き受ける学校が見つからず、実現しないまま終わってしまいました。

今年になり運営側から再チャレンジの申し出がありました。6年生担任3人と私も入り、東京で一回目の会議が開催されたのが5月でした。他校との交流授業は、実は簡単ではありません。学習の進度も違うし、何よりも富士山に対しての思い入れも違います。静岡の子どもたちは、いつでも見られる富士山を当たり前のように感じているのに対し、本校の子どもたちは、富士山を見たこともない子もいます。それに同じ6年生とはいえ、会ったこともない子ども同士で学習を進めるというのも、難しいところがあります。

交流授業はタブレット型端末で行いました。SKYPEというソフトウェアを使うと、相手側には簡単に繋がります。給食時間を使って、事前に子ども同士が交流をしました。また、授業を考える際、これまたTV会議を使って、両校の教員たちが情報の共有をした上で、当日の授業を迎えました。

静岡の子どもたちは、富士山にかかわるたくさんの方のことを教えてくれましたし、片平の子どもたちは、伊達政宗をはじめ地域に残る歴史のことや、仙台の名産物の紹介などを通して、地域のよさをアピールしました。

実は、20年前に私がかかわり、本校でTV会議が既に実現されていたのです。平成8年のことです。NTTをはじめ様々な企業が参加し「こねっとプラン」推進会議というものが設立され、インターネット推進の支援のために、全国1000カ所から学校の募集をしました。本校も手を挙げたところ、めでたく採用になり、当時は光回線がさほど普及していなかったため、代わりにISDN回線を敷設し、インターネットに接続できるPCや多地点で接続できるTV会議の機器等も貸してもらえることになりました。

はじめてTV会議をした時のことを今でも思い出します。当時参加していた数カ所の学校と順番に映像をつないでいくのですが、マイクに向かって音声を入力すると、参加している全部の学校にその映像が流れるのです。北から順番に、「今の仙台の映像です」「相模原はこんな感じです」といっ

た具合に、テストも兼ねて繋いでいきました。日本列島は南北に長く、そして東西にも広がっているんだと実感を伴って分かったのは、だんだん南（西）の地区に進んで行くにつれて、明るさが変わっていくことからです。今ぐらいの季節で時間は3時半頃だったように記憶していますが、薄暗くなる時間が同じ日本でもこんなに違うと驚かされました。当時のネットスピードやら接続機器の状況を考えると、なんと今は恵まれていることか。便利な時代になったと思います。本当に隣の教室にいるような感覚でTV会議ができるのでした。

PTA フェスティバルに参加

13日の日曜日に、勾当台公園を会場に開催された仙台市PTA協議会主催のPTAフェスティバルに参加して来ました。出店や出し物もあり、なかなかにぎやかな会です。本校は学校紹介のパネルを展示しました。

例年PTAの広報委員会の方々が、時間をかけ取材をし、写真も厳選して作られている学校紹介のパネルなので、今年もどんなパネルなのかと楽しみにして行きました。

とても上手に学校の特徴をアピールしてくださいました。白老小との交流のことや、芝生の校庭をはじめ、上巳の会、その他地域のことなど、片平の魅力満載でした。

片平のパネルをみつけ、写真を撮っていたところに、たまたま教育長が通りかかり、「片平は上手に学校のよさをアピールしているね」と褒めてくださいました。自分で作ったわけでもないのに、何となく鼻高々になりました。本当に広報委員会の皆様、お疲れ様でした。センスのよさと伝えたい思いにあふれた作品でした。

いずれ、学校の玄関を入ったところに展示されると思います。歴代の作品もありますので、その際には、じっくりとご覧いただければと思います。

